

令和8年度

適性検査Ⅱ

注 意

- 1 問題は [1] から [4] までで、18ページにわたって印刷してあります。
- 2 検査時間は**45分間**です。
- 3 声を出して読むはいけません。
- 4 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、**解答用紙だけ提出**しなさい。
- 5 解答を直すときは、きれいに消してから、新しい解答を書きなさい。
- 6 **受検番号**は解答用紙の決められた欄^{らん}2か所に必ず記入しなさい。

さいたま市立浦和中学校

1

太郎さんと花子さんは、工作に使用する紙の大きさについて先生と話をしています。

次の問1～問4に答えなさい。

【太郎さん、花子さんと先生の会話①】

太郎さん：コピー用紙が入っている箱に「A4」と書いてあるのを見ました。これは何を表しているのですか。

先生：A4の「A」は紙の基準となる形を、「4」は紙の大きさを表しています。印刷をするときなどに便利なので、大きさが決められています。

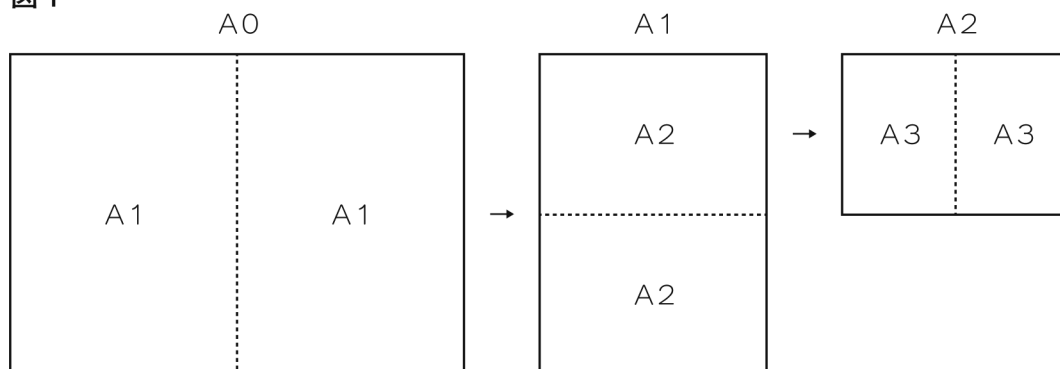
花子さん：A4以外にも決まった大きさがあるのですか。

先生：A3やA5など、他の数字がつけられた大きさもありますよ。

太郎さん：どのような決まりでその数字や大きさが決まっているのですか。

先生：良い質問ですね。図1を見てください。A0という紙があり、これを半分にするとA1になります。さらに、A1を半分にするとA2、A2を半分にするとA3というように、ある大きさを半分にすると、数字が1大きくなっていきます。

図1



花子さん：同じように、A3を半分にするとA4になるのですね。

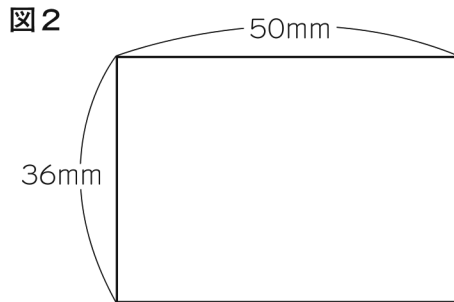
先生：そのとおりです。また、どの紙も長方形で、長い方の辺と短い方の辺の長さの比率はどれも同じになっていますよ。

太郎さん：おもしろいですね。

問1 A2の面積は、A9の面積の何倍になりますか。数字で答えなさい。

【太郎さん、花子さんと先生の会話②】

先生：紙の大きさについてより深く考えてみましょう。たとえば、**図2**のような、^{たて}縦の長さが36mm、横の長さが50mmの大きさの紙を用意します。この紙から、長方形が残らなくなるまで、できるだけ大きな正方形から順に切り取っていくという活動です。ここから切り取れる正方形のうち最も大きいものはどのような正方形で、何個切り取れるでしょうか。



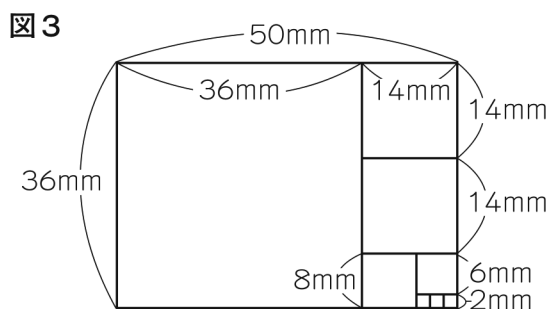
花子さん：1辺の長さが36mmの正方形が1個切り取れます。

先生：そのとおりです。次に、残った部分から切り取れる正方形のうち最も大きいものはどのような正方形で、何個切り取れるでしょうか。

太郎さん：残った部分は、縦の長さが36mm、横の長さが14mmの長方形になるので、1辺の長さが14mmの正方形が2個切り取れます。

先生：よくわかりましたね。同じように考えて、長方形が残らなくなるまでくり返していくと、どのようなになるでしょうか。

花子さん：**図3**のように、1辺が8mmの正方形を1個、1辺が6mmの正方形を1個、1辺が2mmの正方形を3個切り取ることができ、全部で8個の正方形が切り取れます。



先生：よくできましたね。

太郎さん：辺の長さを変えるとどうなるのか、やってみたいです。

花子さん：A4の紙があるので、この紙から正方形を切り取っていきましょう。

問2 A4の紙を、縦の長さが210mm、横の長さが297mmの長方形とします。次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) A4の紙の面積は何 mm^2 になりますか。数字で答えなさい。

(2) A4の紙から、長方形が残らなくなるまで、できるだけ大きな正方形から順に切り取っていくと、全部で何個の正方形を切り取れますか。数字で答えなさい。

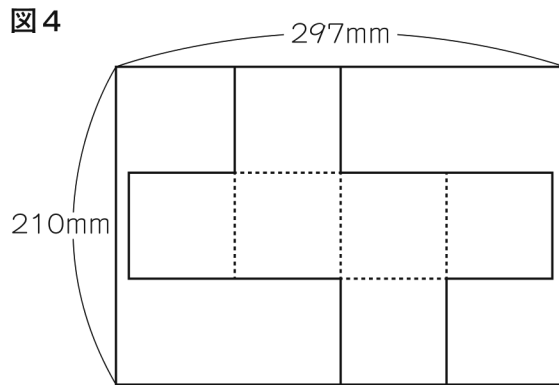
【太郎さん、花子さんと先生の会話③】

先生：今度は、紙を使って立方体をつくってみましょう。

花子さん：どのようにつくればよいですか。

先生：まずは紙に立方体の展開図をかいてみてください。その展開図を切り取って組み立て、立方体をつくることにしましょう。

太郎さん：わかりました。私は、**図4**のように、A4の紙に大きな展開図を1つかきました。



先生：良いですね。花子さんはどうでしょうか。

花子さん：私は、太郎さんのやり方ではなくて、色々な展開図をかいてみました。

太郎さん：小さな展開図が5種類ありますね。

先生：それぞれ紙にかいた展開図を切り取って組み立ててみましょう。

太郎さん：できました。

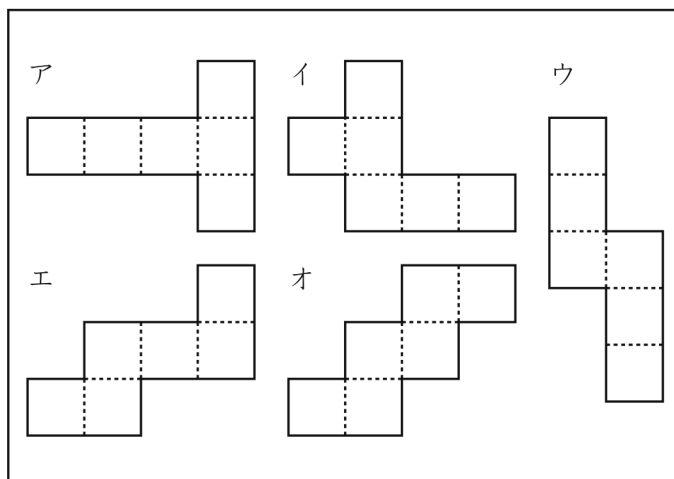
先生：おや。花子さんがかいた5つの展開図のうち、組み立てても立方体にならないものが1つだけありますね。

問3 次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 太郎さんがつくった立方体の体積は何 mm^3 になりますか。数字で答えなさい。

(2) **図5**は、花子さんがかいた5つの展開図です。このうち、組み立てても立方体にならないものはどれですか。**図5**のア～オから1つ選び、記号で答えなさい。

図5



【太郎さん、花子さんと先生の会話④】

太郎さん：立方体に関する他の活動もしてみたいです。

先生：わかりました。図6のように、15個の正方形のマスをかいた紙を用意します。このマスに、1～15の数字を1つずつ書き入れます。ここに立方体の展開図をかき入れて、その部分を切り取って折り、立方体をつくります。

図6

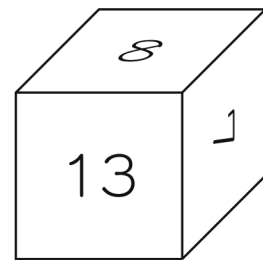
1	2	3	4	5
10	9	8	7	6
11	12	13	14	15

花子さん：図7のように切り取ると、図8のような立方体をつくることができました。

図7

1	2	3	4	5
10	9	8	7	6
11	12	13	14	15

図8



先生：良いですね。つくった立方体の6つの面に書かれた数の合計はどうになりましたか。

花子さん：6つの面に書かれた数は、5、6、7、8、9、13なので、合計は48になりました。

先生：そのとおりです。この合計が最も大きくなるようにするには、立方体の展開図をどのように切り取ればよいのかを考えてみましょう。

太郎さん：立方体の展開図は色々な種類があるので難しいですが、おもしろそうです。

花子さん：どのように切り取れば合計が最も大きくなるのか試してみましょう。

問4 立方体の6つの面に書かれた数の合計が最も大きくなるような展開図を、解答欄の図に、点線部分をなぞってかき入れなさい。また、その展開図を組み立てて立方体をつくる時、6つの面に書かれた数のうち、最も小さい数が書かれた面に対して平行な面に書かれた数は何ですか。数字で答えなさい。

花子さんと太郎さんは、バーコードについて先生と話をしています。

次の問1～問4に答えなさい。

【花子さん、太郎さんと先生の会話①】

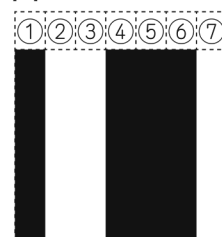
花子さん：昨日、買い物をするときにセルフレジを使ってバーコードを読み取りました。バーコードは線が並んでいるだけなのに、商品の情報を読み取ることができて不思議ですね。どのように線が並んでいるのですか。

先生：バーコードのしくみに興味を持ったのですね。バーコードは、数字の情報を機械で読み取れるように、黒い線と白い線の組み合わせによって情報を記録するしくみです。まずは、商品についているバーコードがどのようなつくりになっているかを見てみましょう。バーコードは、非常に細い幅のマス（はば）を横に並べたつくりになっていて、その最小のマスを「モジュール」とよびます。1モジュールの幅は標準で0.33mmと決められています。

太郎さん：1つの数字は何モジュールで表すのですか。

先生：良い質問ですね。図1のように、1つの数字は7モジュールを黒と白にぬり分けて表します。数字によって表し方は異なりますが、図1は「5」を表しています。

図1



太郎さん：1つのバーコード全体では、どのくらいの幅になるのですか。

先生：図2を見てください。1つのバーコードは7つの部分からできている、それぞれの標準の幅は表1のように決められています。

図2



表1

	幅
左余白	11 モジュール分
左ガードバー	3 モジュール分
左データ	数字6桁分
センターバー	5 モジュール分
右データ	数字6桁分
右ガードバー	3 モジュール分
右余白	7 モジュール分

花子さん：とても細かく決められているのですね。

問1 図2の空欄「ア」にあてはまる数は何ですか。数字で答えなさい。

【花子さん、太郎さんと先生の会話②】

花子さん：バーコードの下に数字が並んでいますが、全部で13桁ありますね。この数字にはすべて意味があるのですか。

先生：はい、一桁一桁に意味があり、国や企業、商品を表しています。ただし、13桁のうち一番右の1桁は、商品を識別するための情報ではなく、「チェックデジット」とよばれる確認用の数字です。

太郎さん：確認用というのは、何を確認するのですか。

先生：チェックデジットは、機械がバーコードを正しく読み取ることができなかった場合や、手を入力したときの数字の打ち間違いを検出するために使われます。バーコードの読み取りの正確性を保つために、とても大切な役割をもっています。

花子さん：そうなのですね。では、そのチェックデジットは、どのようにして決められているのですか。

先生：チェックデジットは、左から数えて1桁目から12桁目までの数字を用いて計算します。まず、左から奇数番目の数字の合計を計算します。次に、左から偶数番目の数字の合計を計算し、その答えを3倍します。これらの計算で求めた2つの数を合計した数の一の位の数を10からひいた数がチェックデジットとなります。

太郎さん：計算方法が複雑ですね。

花子さん：図3のバーコードで確認してみましょう。左から奇数番目にある、4、5、3、1、4、2の6つの数の合計は19です。左から偶数番目にある、9、4、2、5、3、1の6つの数の合計は24で、これの3倍は72です。19と72の合計は91で、一の位の数は1だから、チェックデジットは、 $10 - 1 = 9$ と求めることができます。

図3



チェックデジット

先生：求めた数字と図3のバーコードの一番右の数字が一致しましたね。

太郎さん：この数字が一致しなければ、読み取りミスなどの誤りがあることがわかるということなのですね。

先生：そのとおりです。

問2 図4のバーコードの□で示したチェックデジットは何ですか。数字で答えなさい。

図4



【花子さん、太郎さんと先生の会話③】

花子さん：1つの数字を表すとき、7モジュールで表すとのことでしたが、それぞれの数字をどのように表すのですか。

先生：表2を見てください。7モジュールの黒い線と白い線の配置がどのようになっているかを、黒い線を●、白い線を○として表しています。

表2

数字	左データ		右データ
	パターンA	パターンB	
0	○○○●●○○	○●○○●●●	●●●○○●○
1	<input type="text" value="イ"/>	○●●○○●●	●●○○●●○
2	○○●○○●●	○○●●●●●	●●○●●○○
3	○●●●●○○	○●○○○○○●	<input type="text" value="ウ"/>
4	○●○○○○●●	○○●●●○○	●○●●●○○
5	○●●○○○○●	○●●●○○○●	●○○●●●○
6	○●○●●●●	○○○○●○○	●○●○○○○
7	○●●●○●●	○○●○○○○	●○○○●○○
8	○●●○●●●	○○○●○○○●	●○○●○○○
9	○○○●○●●	○○●○●●●	●●●○●○○

太郎さん：1つの数字に対応する表し方は1つではないのですね。

先生：そのとおりです。左データの6桁の数字を表す場合と、右データの6桁の数字を表す場合で、それぞれの数字の表し方が異なります。ただし、表し方は異なりますが、3つのパターンの間にはある規則があります。どのような規則があるか考えてみましょう。

問3 表2の空欄 、 にあてはまる配置はどのようになりますか。解答欄の○をぬりつぶして答えなさい。

【花子さん、太郎さんと先生の会話④】

先生：バーコードについて考えてきましたが、何か疑問に思うことはありますか。

花子さん：左データは6桁で、右データも6桁なので、合計12桁分しか表していないように見えますが、数字は13桁分あることが気になります。

先生：良い着眼点ですね。太郎さんは何かありますか。

太郎さん：左データの数字の表し方にパターンAとパターンBがありますが、どのような違いがあるのですか。

先生：良い質問です。花子さんと太郎さんの疑問には関連があります。実は、バーコードの一番左の数字は線では表していません。その代わりに、左データの6つの数字のパターンの組み合わせによって、一番左の数字が何かを示しているのです。

花子さん：パターンの組み合わせだけで、一番左の数字がわかるようになっているのですか。

先生：はい。表3を見てください。左データの6つの数字がそれぞれパターンAとパターンBのどちらで表しているのかの組み合わせと、一番左の数字が何であるかが対応しています。

表3

左データのパターンの組み合わせ	一番左の数字	左データのパターンの組み合わせ	一番左の数字
AAAAAA	0	ABBAAB	5
AABABB	1	ABBBAA	6
AABBAB	2	ABABAB	7
AABBBA	3	ABABBA	8
ABAABB	4	ABBABA	9

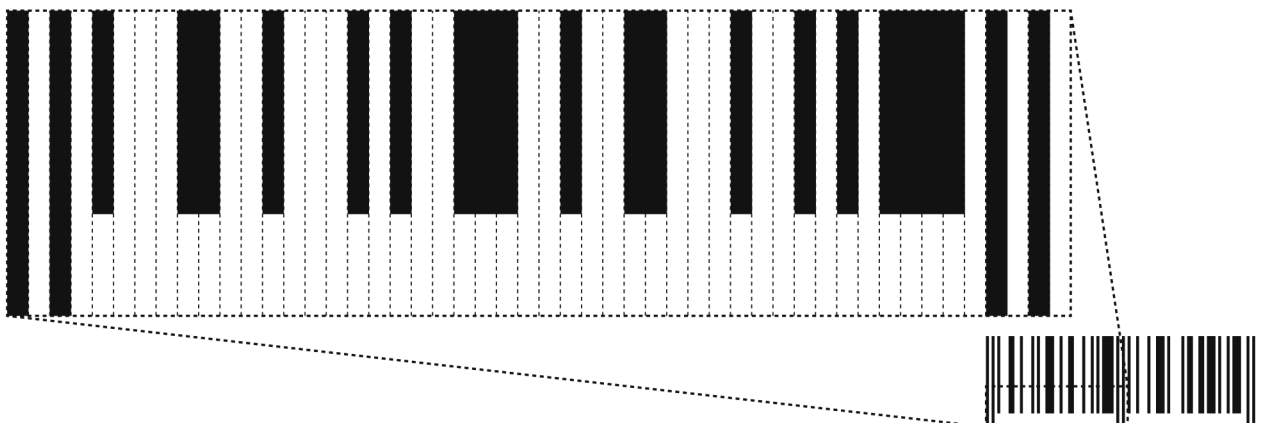
太郎さん：なるほど。だから左データの数字の表し方にパターンAとパターンBの2種類があったのですね。

先生：そのとおりです。

花子さん：バーコードの中に、こんなにたくさんの情報がかくれているなんて思いませんでした。

問4 図5は、あるバーコードの一部を拡大したものです。このバーコードに対応する、左から1桁目から7桁目までの数字を書きなさい。

図5



3

花子さんは、昨夜テレビで見た偽物の金でできた王冠を見分ける方法について、先生と話をしています。

次の問1～問4に答えなさい。

【花子さんと先生の会話①】

花子さん：偽物の金でできた王冠の密度と本物の金の密度を比べることで、王冠が偽物の金でできていると見分けることができたという話を、昨日テレビで見ました。テレビで言っていた密度とは、何なのですか。

先生：密度とは、ものの 1cm^3 あたりの重さのことです。密度はものの種類によって決まった値になるので、王冠の密度が金の密度と異なっていれば、王冠は金でできていないということがわかるのです。

花子さん：そうなのですね。密度はどうやって求めるのですか。

先生：密度はものの重さをものの体積で割って求めます。単位は g/cm^3 で表します。

花子さん：なるほど、よくわかりました。

数日後花子さんは、留学生のトムさんと水に入れたときのものの浮き沈みについて調べ、水に浮く野菜と、水に沈む野菜について話をしています。

【トムさんと花子さんの会話】

トムさん：Some vegetables go down and ^{*1}others ^{*2}float in the water. Why?

花子さん：Because they have ^{*3}different ^{*4}densities.

トムさん：The cucumber floats. What is the cucumber's ^{*4}density?

花子さん：It's $0.95\text{g}/\text{cm}^3$. Water's density is $1.00\text{g}/\text{cm}^3$. $1.00\text{g}/\text{cm}^3$ is ^{*5}larger than $0.95\text{g}/\text{cm}^3$. So it floats. Let's ^{*6}find out the densities of some vegetables and see ^{*7}if they float.

※1 others……ほか ※2 float……浮く ※3 different……異なる

※4 density (densities)……密度 ※5 larger than ～……～より大きい

※6 find out ～……～を調べる ※7 if they float……浮くかどうか

花子さんとトムさんは、タマネギ、トマト、ニンジン、キュウリ、ジャガイモの重さと体積をそれぞれ調べて、**図1**のグラフと**表1**にまとめました。

図1

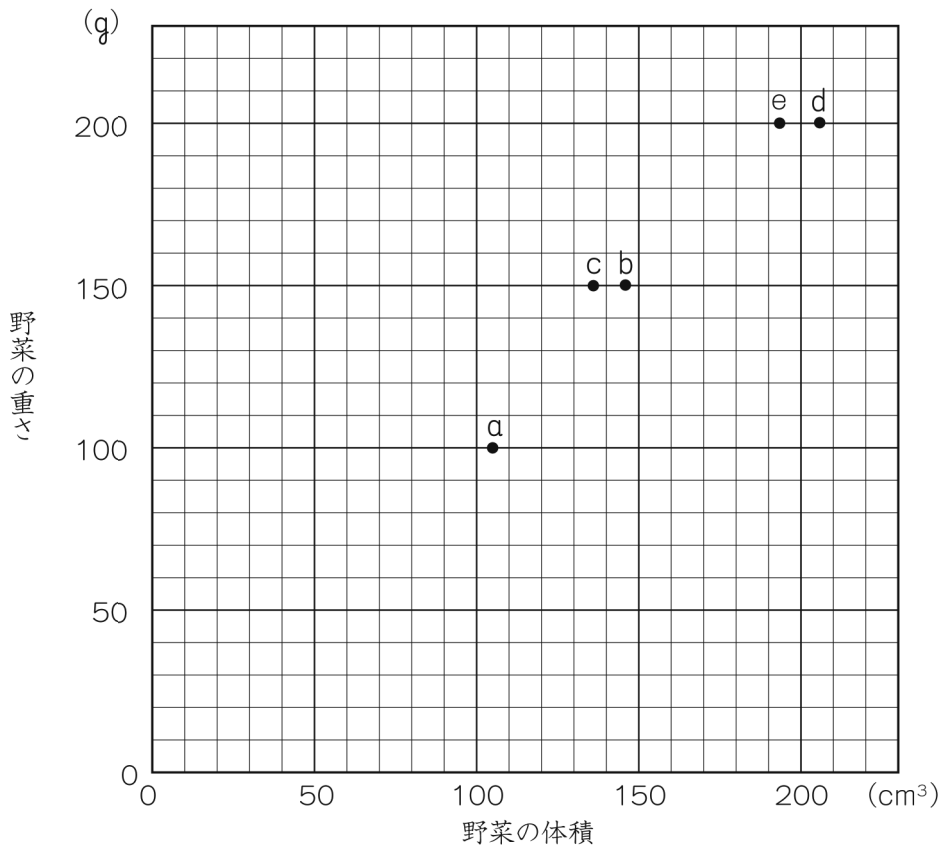


表1

野菜	野菜の種類	野菜の重さ (g)	野菜の体積 (cm ³)
a	cucumber	100	105
b	tomato	150	147
c	potato	150	136
d	onion	200	206
e	carrot	200	192

問1 **図1**、**表1**から、ジャガイモの密度は何 g/cm^3 ですか。小数第3位を四捨五入して答えなさい。

問2 水の密度を $1.00\text{g}/\text{cm}^3$ としたとき、**図1**、**表1**から、水に入れたときに浮く野菜を、a～eからすべて選び、記号で答えなさい。また、500gの水に15gの食塩をとかしてつくった食塩水に入れたときに浮く野菜を、a～eからすべて選び、記号で答えなさい。ただし、食塩を加えたことによる水溶液の体積の変化は考えないものとします。

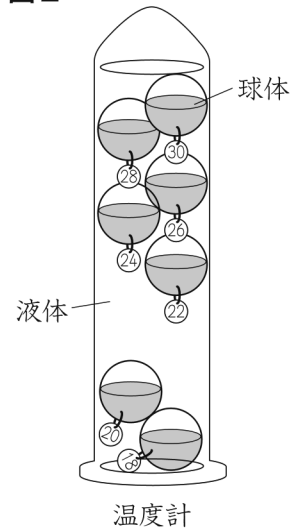
花子さんは、ものの浮き沈みを利用した温度計（ガリレオ温度計）があったことを思い出し、その温度計のしくみを調べました。

【花子さんが調べたこと】

<ものの浮き沈みを利用した温度計（ガリレオ温度計）のしくみ>

- ・液体の温度が変化すると、温度の変化にともなって、液体の密度も変化する。図2のような温度計では、気温の変化に合わせて、一つの中の液体がぼう張することによって、温度計の中にある、温度の数字が書かれたタグがついた、いくつかのガラスの球体が浮き沈みする。
- ・気温が変化すると温度計の内部の液体の温度も変化し、液体の密度と球体の密度の関係が変わる。それによって、温度計の中の球体が浮いたり沈んだりする。
- ・気温は、浮いた球体の中で、1番下にある球体のタグに書かれた温度であり、図2の場合、気温は22℃である。

図2



花子さんは、図2の温度計について調べたあと、自分で同じしくみをもつ温度計を作りたいと考えました。花子さんと先生は、このことについて話をしています。

【花子さんと先生の会話②】

先生：温度計の中の液体は、水で代用することもできます。水を使う場合は、温度による水の密度の変化を調べる必要があります。その上で、温度計の中に入れる球の密度を調整する必要があります。

花子さん：わかりました。温度計に使う容器の中には水を入れて、3つの球A～Cを入れることにしました。球Aの密度を 0.992g/cm^3 、球Bの密度を 0.994g/cm^3 、球Cの密度を 0.997g/cm^3 になるようにして、図2の温度計と同じしくみの温度計を作ってみます。

花子さんは、**図3**のようにガラスの容器に水を入れて、容器の中に、**図4**のような密度が異なる球A～Cを入れ、**図2**の温度計と同じくみの温度計を作るための実験をしています。また、**表2**は、水の温度と密度の関係をまとめたものです。

図3

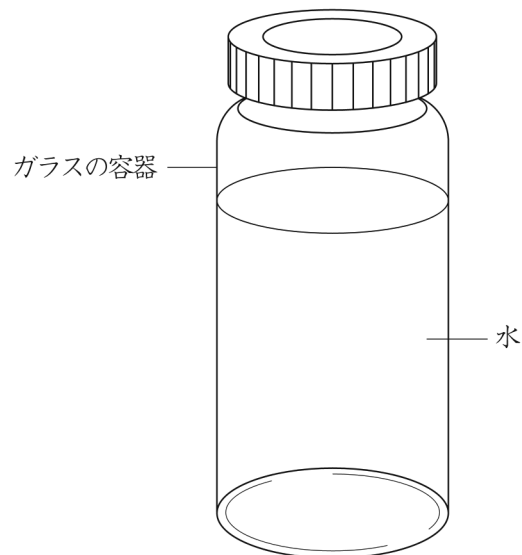


図4



表2

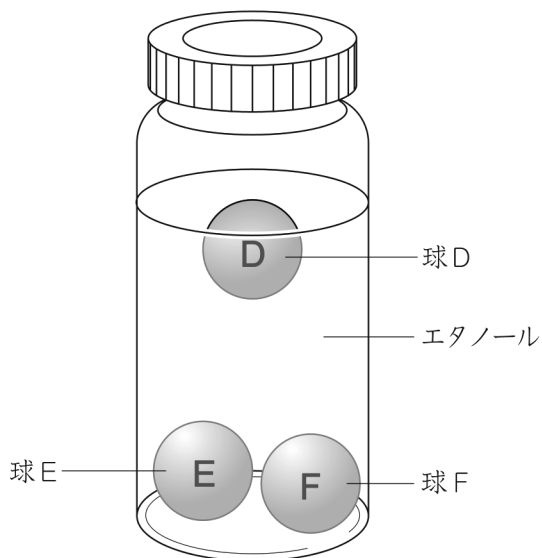
水の温度〔℃〕	10	20	30	40	50	60
水の密度〔g/cm ³ 〕	0.999	0.998	0.995	0.992	0.988	0.983

問3 水の温度を30℃にしたとき、水の中にある球A～Cの浮き沈みはどのようになりますか。次のア～カから1つ選び、記号で答えなさい。

	球A	球B	球C
ア	沈む	沈む	沈む
イ	沈む	沈む	浮く
ウ	沈む	浮く	浮く
エ	浮く	浮く	浮く
オ	浮く	浮く	沈む
カ	浮く	沈む	沈む

花子さんは、**図3**の容器の中の液体を、水と密度が異なる、ある温度のエタノールにかえました。この容器に、密度が 0.78g/cm^3 の球D、密度が 0.80g/cm^3 の球E、密度が 0.95g/cm^3 の球Fを入れたところ、**図5**のように、球Dだけ浮き、球E、球Fは沈みました。

図5



問4 **図5**の球D～Fの浮き沈みのようすから考えられる、容器の中に入れたエタノールの密度として最も適切な数値を、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 0.77g/cm^3
- イ 0.79g/cm^3
- ウ 0.85g/cm^3
- エ 1.00g/cm^3

太郎さんと先生は、山の中の排出物や死がいのゆくえについて話をしています。

次の問1～問4に答えなさい。

【太郎さんと先生の会話①】

太郎さん：山の中にはたくさんの動物がいますよね。この動物たちはふんを排出したり、死んで死がいになったりしますが、これが続くと、山の中が排出物や死がいでいっぱいになるのではないですか。また、毎年秋になると、山の中は落ち葉でいっぱいになりますが、次の秋がくるまでには落ち葉がなくなっていますよね。この前ハイキングに行ったとき、山の中は死がいや落ち葉でうめつくされてはいませんでした。死がいや落ち葉はどこにいったのですか。

先生：それは、山の中にいる菌類や細菌類などの小さな生物やダンゴムシ、ミミズなどが生物の排出物や死がい、落ち葉などを分解しているのです。このようなはたらきを行う生物を分解者といいます。分解者にとって生物の排出物や死がいなどは養分になるので、これらを取り入れています。

太郎さん：なるほど。分解者のおかげで、山の中が死がいや落ち葉でいっぱいになることはないのですね。

先生：そうですね。では、分解者のくわしいはたらきを調べる実験をしてみましょう。

太郎さんは、山から取ってきた小さな生物を^{ふく}含んだ土を使って、次の【実験】を行いました。

【実験】

<目的>

土の中の小さな生物のくわしいはたらきを調べる。

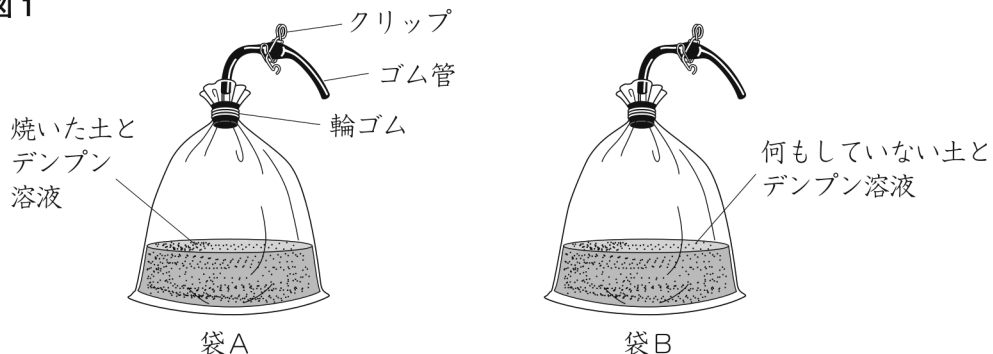
<用意したもの>

- | | | |
|--|----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 小さな生物を含んだ土 100g | <input type="checkbox"/> 透明な袋A、B | <input type="checkbox"/> ガスコンロ |
| <input type="checkbox"/> デンプン ^{よう} 溶液 | <input type="checkbox"/> 輪ゴム | <input type="checkbox"/> ゴム管 |
| <input type="checkbox"/> クリップ | <input type="checkbox"/> ヨウ素液 | <input type="checkbox"/> 石灰水 ^{かい} |

<方法>

- 1 小さな生物を含んだ土 100gのうち50gはガスコンロでじゅうぶんに焼いて冷ましてから袋Aに入れて、残りの50gには何もせず、そのまま袋Bに入れた。
- 2 図1のように、袋A、Bに排出物や死がいに見たてた同じ量のデンプン溶液を入れて、じゅうぶんに空気を入れてからそれぞれゴム管とクリップをとりつけて輪ゴムで密閉し、1週間放置した。
- 3 1週間後、袋A、Bのクリップを開いて、中の空気をそれぞれ石灰水に通したときの、石灰水のようすをそれぞれ調べた。
- 4 袋A、Bにヨウ素液を加えたときの、ヨウ素液の色をそれぞれ調べた。

図1



<結果>

・石灰水とヨウ素液のそれぞれの色は、表1のようになった。

表1

	袋A	袋B
石灰水のようす	変化しなかった。	白くにごった。
ヨウ素液のようす	青むらさき色に変化した。	変化しなかった。

問1 <方法>の下線部について、袋Aに入れた土をガスコンロで焼いたのはなぜですか。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

- ア 土の量を減らすため。
- イ 土の中にある空気をなくするため。
- ウ 土の中にある小さな生物を死めつさせるため。
- エ 土の中にある落ち葉などを細かくするため。

問2 <結果>から小さな生物にはどのようなはたらきがあることがわかりますか。次の文章の空欄 P Q にあてはまる物質名を、それぞれ答えなさい。

袋Bでは、ヨウ素液が変化しなかったことから、小さな生物によって P が分解されたことがわかる。また、石灰水が白くにごったことから、小さな生物のはたらきによって Q が発生したことがわかる。

【太郎さんと先生の会話②】

先生：山の中では、ウサギは植物を食べて、ウサギはタカに食べられる、というような関係があります。このような自然界での食べる、食べられるという関係を食物連鎖さきといいいます。また、食物連鎖さきの関係にある生物のうち、他の生物に食べられる生物を被食者ひ、食べる生物を捕食者ほといいいます。自然界では、基本的には図2のピラミッドのように、肉食動物が最も個体数が少なく、その次に草食動物が少なく、最も個体数が多いのは植物となり、この個体数の関係は一定に保たれています。

太郎さん：でも、例えばタカがたくさんウサギを食べてしまったら、いずれウサギがいなくなってしまうと思います。それでも図2のような個体数の関係を保つことができるのですか。

先生：図2の個体数の関係から草食動物の数のみが減った場合、図3の矢印のように変化して元の個体数の関係に戻ります。では、食物連鎖さきの関係にある生物の個体数の変化について調べてみましょう。ハダニとカブリダニは、いずれもダニのなかまで、ハダニがカブリダニに食べられるという、被食者と捕食者の関係にあります。これらの生物を同じ容器に入れて飼育し、それぞれの個体数の変化を観察してみましょう。

図2

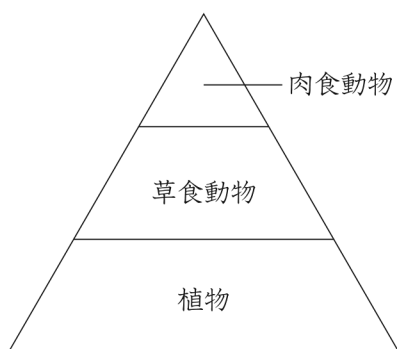
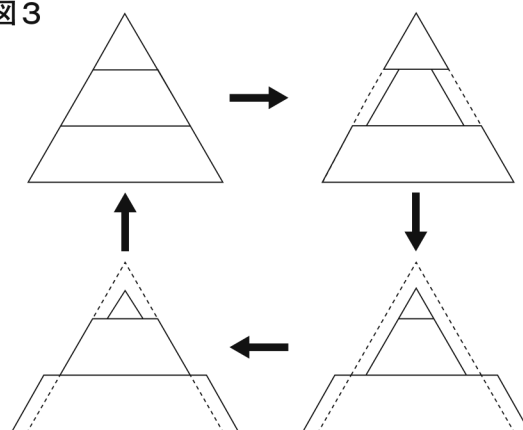


図3

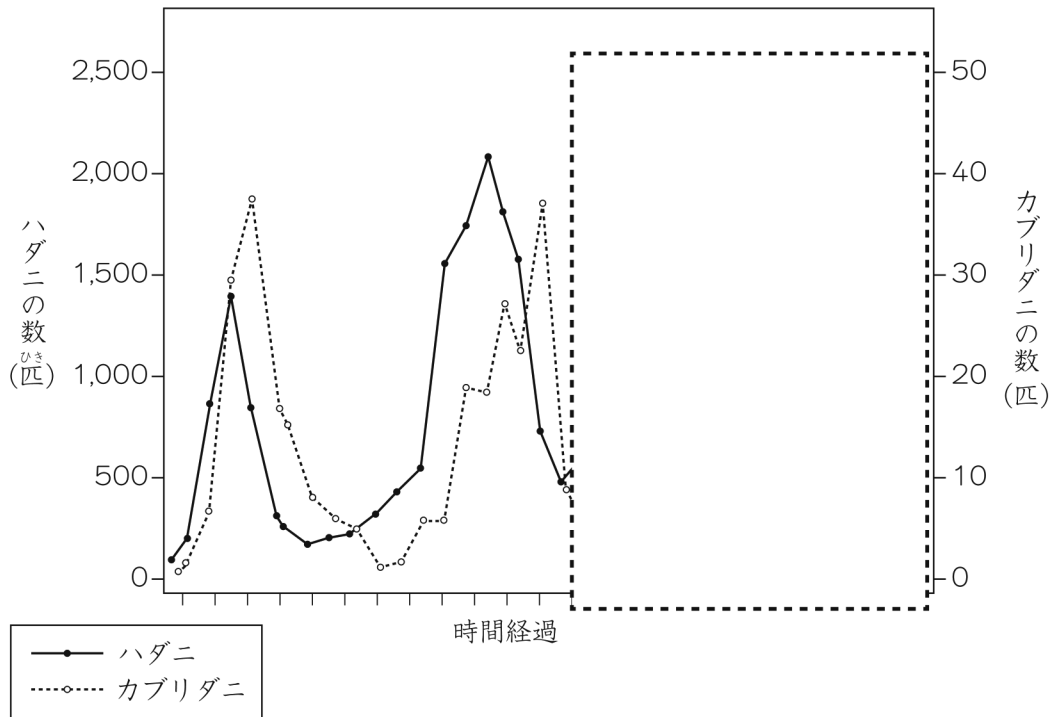


太郎さんは、ハダニとカブリダニの個体数の変化について、次の【調査】を行いました。

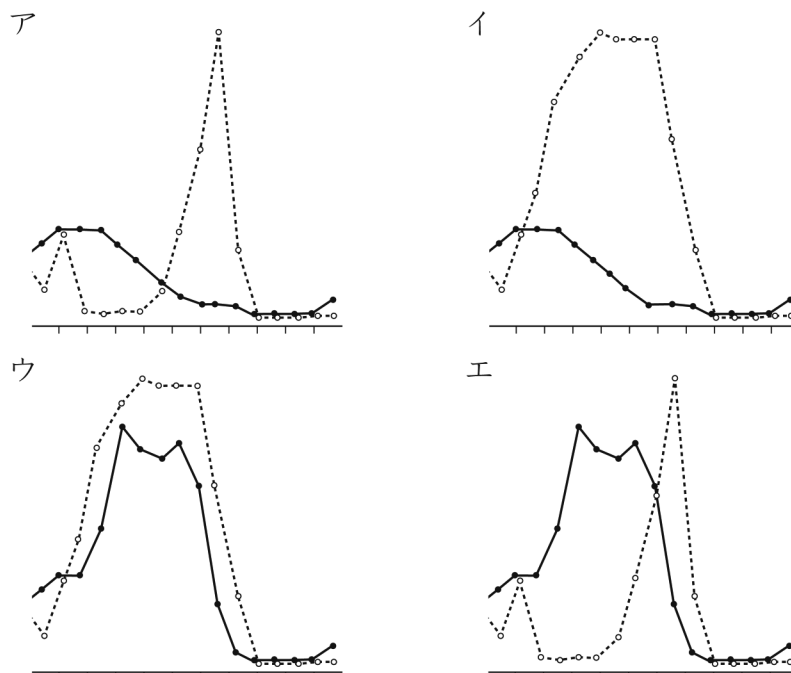
【調査】

- ・ハダニは、カブリダニに食べられるという関係がある。
- ・図4は、ハダニとカブリダニを同じ容器に入れて飼育したときのそれぞれの個体数の変化を調べ、グラフにまとめたものである。

図4



問3 【調査】の図4の [] にあてはまるグラフの続きはどれですか。次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。



【太郎さんと先生の会話③】

太郎さん：【調査】の図4から、ハダニとカブリダニの個体数の変化を調べることができました。

先生：では、ハダニとカブリダニを飼育している容器の中に、ハダニを食べずにカブリダニだけを食べる生物Xを入れたとします。このときの、容器の中の生物の個体数の変化はどのようなになるでしょうか。考えてみましょう。

【太郎さんの考え】

ハダニとカブリダニを飼育している容器の中に生物Xを入れると、生物Xに食べられることでカブリダニの個体数が減る。つまり、ハダニにとっての捕食者が 、生物Xにとっての被食者が 。さらに時間がたつと、ハダニの個体数は と考えられる。

問4 **【太郎さんの考え】**について、次の(1)、(2)の問いに答えなさい。

(1) 空欄 、 にあてはまることばの組み合わせを、次のア～エから1つ選び、記号で答えなさい。

ア R：増え S：増える

イ R：増え S：減る

ウ R：減り S：増える

エ R：減り S：減る

(2) 空欄 にあてはまる内容を、「生物Xの個体数」という語を用いて20字以内で書きなさい。

これで、問題は終わりです。